

大規模災害廃棄物対策研修会の開催結果（報告）

令和2年7月豪雨により被災された地域の視察や、被災自治体において災害廃棄物対応に従事された職員の方々との意見交換を通じ、大規模な災害が発生した際に、被災した市町村等による災害廃棄物処理が円滑に進むよう、九州ブロック協議会構成員を対象とした「大規模災害廃棄物対策研修会」を開催した。

1. 日時

令和3年11月15日（月）～16日（火） 1泊2日

2. 研修型式

熊本県人吉市内での現地対面研修およびリアルタイム配信によるオンライン研修
（Cisco Webex Meetings を使用）

3. 概要

- 11月15日（月） 15時～16時 人吉市災害廃棄物仮置場の現地視察
【講師】
人吉市環境課 廃棄物対策係 堂坂 高弘 様
（仮置場維持管理）有価物回収協業組合 石坂グループ
石坂 広徳 様
- 16時～17時 人吉市内被災状況の現地視察（バス視察中心）
【講師】
人吉市環境課 廃棄物対策係 堂坂 高弘 様
- 11月16日（火） 9時～11時 意見交換会「災害当時の初動対応やその後の廃棄物処理」
（於：ホテルサン人吉 会議室「白鳳」）
【講師（話題提供）】
人吉市環境課 廃棄物対策係 堂坂 高弘 様
八代市循環社会推進課廃棄物指導係 上村 勝一 様
熊本県環境生活部環境局循環社会推進課 井上 知揮 様
〃 篠原 亮 様

4. 参加状況

1) 現地参加：12団体22名

県：6団体7名（福岡県、長崎県、熊本県（2名）、大分県、鹿児島県、沖縄県）

市：2団体3名（福岡市（2名）、久留米市）

民間団体：1団体1名（全産連九州地域協議会）

国の機関：1団体4名（環境省環境再生・資源循環局）

事務局：2団体7名（九州地方環境事務所（3名）、日本環境衛生センター（4名））

2) オンライン参加：12 団体 12 名

県：2 団体 2 名（佐賀県、宮崎県）

市：8 団体 8 名

（北九州市、長崎市、佐世保市、熊本市、大分市、宮崎市、鹿児島市、那覇市）

有識者：1 団体 1 名（九州大学大学院 島岡教授）

国の機関：1 団体 1 名（内閣府 沖縄総合事務局）

3) ご欠席：2 名

有識者：1 団体 1 名（名古屋大学 平山准教授）

国の機関：1 団体 1 名（国土交通省 九州地方整備局）

5. 実施内容

1) 仮置場現地視察（11月15日（月） 15時～16時）

- ① 研修会初日、まずは人吉市中核工業用地を訪問し、石坂グループ様により運営・維持管理されている、人吉市災害廃棄物仮置場の現地視察を実施した。
- ② 最初は仮置場内を実際に歩きながら、災害廃棄物の種類ごとに処理・保管されている状況をご説明いただいた。
- ③ 次に会議室に移動し、発災後間もない混乱の中で仮置場を設置・運営された状況や、ファストレーン方式による渋滞解消の取り組み等について、写真や動画を交えてご説明いただいた。

2) 人吉市内被災状況視察（11月15日（月） 16時～17時）

- ① 仮置場現地視察終了後、被災状況が深刻であった市内大柿地区に向けて移動するバス車内より、被災後の市内の状況について視察を実施した。
- ② 車内では人吉市の堂坂様より、災害廃棄物処理に係る様々な体験談を交えながら、被災当時の被害状況等についてご説明いただいた。
- ③ 発災から1年4カ月を経過しており、現況からは被災当時の状況を伺い知れないことから、堂坂様よりご提供いただいたバス移動ルート上における発災後間もない時期の現場写真を示したマップを準備し、ご説明に活用いただいた。

3) 意見交換会（11月16日（火） 9時～11時）

- ① 「災害当時の初動対応やその後の廃棄物処理」というテーマに基づき、令和2年7月豪雨の際に発生した災害廃棄物処理に従事された人吉市の堂坂様および八代市の上村様より、災害廃棄物処理に対応される中で経験されたことや感じたこと、またそれを支援された熊本県の井上様および篠原様より取り込まれたことなどをご紹介いただいた。
- ② その後の質疑応答では、職員異動のある自治体内における災害廃棄物対応の知見の継承方法や、災害廃棄物仮置場設置に要する準備期間の市民・住民への周知方法、複数自治体による仮置場共同運営についてなど、活発な質疑応答・意見交換を実施いただいた。

以上